

2014年度金融知識普及功績者一覧

〔個人の部〕

1. 進藤 恵美
(宮城県)
 - ・ 主に学生を対象として、「金融トラブルの未然防止」、「社会に出てから必要なお金の知識」、「ライフプラン」等をテーマに、県内外で積極的に講演等活動を行うなど、金融知識の普及に貢献。
2. 岩谷 芳江
(宮城県)
 - ・ 若年層を主な対象に、「金融トラブルの未然防止」、「契約」や「クレジットカードの使い方」等をテーマとして、自立した消費者を育むための講演に注力するなど、金融知識の普及に貢献。
3. 野澤 通
(茨城県)
 - ・ 金融学習グループ、金融・金銭教育研究校等の指導・支援のほか、子どもから一般社会人まで「必要なものと欲しいもの」、「ライフプランの立て方」や「年金、介護保険」など幅広いテーマで出前授業を行うなど、金融知識の普及に貢献。
4. 山口 京子
(茨城県)
 - ・ 金融について学ぶ自主的なグループを中心として、「年金とこれからの生活設計」、「相続と遺言」、「保険の種類と仕組み」等をテーマに主婦感覚を活かした分かり易い講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
5. 田村 純也
(新潟県)
 - ・ 若い世代には巣立ち教室での「金融トラブル」、子どもを持つ親には「子どもの教育資金」や「生活設計」、高齢者には「金融と消費者トラブル」等をテーマに、幅広い層を対象に分かり易い講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
6. 若林 久
(新潟県)
 - ・ 金融教育研究校の校長時には自ら研究活動を牽引して教員や保護者における金融教育への理解を深めたほか、その後も巣立ち教室等で講師を務めるなど、学校現場における金融教育の普及を中心に、金融知識の普及に貢献。
7. 山田 一郎
(山梨県)
 - ・ 「生涯設計の必要性」の意識付けを講義の基本とし、学生には巣立ち教室で金融取引の基本や金融トラブルを、一般社会人には「生涯収入・支出のバランス」、「年金制度の仕組み」等をテーマに講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
8. 大林 香世
(静岡県)
 - ・ FPとしての知識と経験を活かし、児童から高齢者まで幅広い年齢層を対象に、「おかねの大切さ、使い方」、「ライフプラン（子育て世代の金融講座、セカンドライフに向けた準備）」等をテーマに講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
9. 野島 浩美
(石川県)
 - ・ 税理士としての知識と経験を活かし、「かしこい遺産分割の方法」、「相続と遺言」、「くらしと税金」等をテーマに、税金・生活設計分野を中心に講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
10. 畑上 麻保
(石川県)
 - ・ 教員の経験も活かし、主に児童・保護者・教員を対象として、「子どもと学ぶお金の使い方」、「お買い物ごっこ」、「エコブかい帳」等をテーマに子どもへの金銭教育に関する講演を多数行うなど、金融知識の普及に貢献。

- 1 1. 大石 泉
(兵庫県)
 - ・ 児童から高齢者まで幅広い年齢層を対象として、「お金やモノの大切さを教える金融教育」、「ライフプランニング」をテーマに講演を行うほか、兵庫県主催通信講座のテキスト（多重債務予防関係）の作成に携わるなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 2. 佐竹 三穂里
(鳥取県)
 - ・ 消費生活相談員等として、主に高校生・高齢者を対象に金融トラブル防止の啓発にかかる講演を行うほか、教員経験も活かしながら学生・保護者向けにも積極的に講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 3. 石塚 斐子
(愛媛県)
 - ・ 教員経験も活かし、学校や家庭での金銭・金融教育向上のため、教職員や保護者を対象に、「金融教育の必要性」や「お金の大切さ」等をテーマに講演を行うほか、金融・金銭教育研究校等への助言も行うなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 4. 渡邊 美恵子
(福岡県)
 - ・ 「消費者問題」を中心として、「生活設計」、「金融トラブル対処法」等幅広いテーマで講演を行うほか、金融学習グループの発掘および学習支援に尽力するなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 5. 徳永 智子
(佐賀県)
 - ・ 消費生活相談員としての知識と経験を活かし、相談現場から得た新しい情報の積極的な発信を心がけながら、高校生・高齢者・民生委員等を対象とした出前講座を行うなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 6. 蓑田 富美子
(長崎県)
 - ・ 長年培った消費生活相談員としての知識と経験を活かし、高齢者向けに消費者問題啓発講座で講演を行うほか、県内各地の相談員への相談業務・啓発活動の指導を行い、消費者行政の推進に助力するなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 7. 詫間 幸江
(熊本県)
 - ・ 高校生から高齢者・民生委員等まで幅広い層を対象とした講演に積極的に対応するほか、地元生活情報誌の取材への協力等を通じ、悪徳商法等から身を守るための知恵の啓発を積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
- 1 8. 広瀬 美貴子
(熊本県)
 - ・ F P等で培った知識や経験を活かし、児童から高齢者まで幅広い年齢層を対象として、「お金の使い方」や「ライフプラン」等をテーマに講演を行うほか、地元の一般広報誌の取材に協力するなど、金融知識の普及に貢献。

[団体の部]

- 1. 愛媛県立今治北高等学校
(愛媛県)
 - ・ 教科指導、各種行事や部活動、地域製品の研究や地元商店街のイベントへの参加まで幅広い機会を活かし、また体験的学習を多く取り入れ、金融経済に関する基礎知識の習得、勤労観の育成、ライフプランの重要性に関する理解等の向上などに取り組み、金融知識の普及・向上で着実に成果をあげている。